



昭和33年の国鉄船橋駅南口

年の歩み



船橋市70

In 1937, the towns of Funabashi and Katsushika and the villages of Yasakae, Hoten and Tsukada merged to form the city of Funabashi. On the memorable day a newspaper company's airplane dropped celebration bills which whipped the entire city, adults and children alike, into a jubilant mood. To commemorate the birth of the new city, the municipal emblem symbolizing Funabashi was created.

Nevertheless, the Lugouqiao Incident of 1937 turned into the Second Sino-Japanese War. Under the strain of wartime life, people's daily life gradually deteriorated. Funabashi was somewhat militarized due to high-ranking officers living in the city and serving at army facilities in the adjacent region of Narashino, or naval facilities in Funabashi's Gyoda area.

On December 2 of 1941, the Gyoda Naval Radio Tower (the location is now a housing complex) broadcasted the coded radio transmission ordering the attack on Pearl Harbor. Japan declared war against the United States and the United Kingdom, launching the Pacific War on December 8 of that year.

昭和

12年~19年

船橋市70年の歩み

船橋市誕生に歓喜あふれる

昭和12年、船橋町、葛飾町、八栄村、法典村、塚田村が合併し、船橋市が誕生しました。市制施行の当日は新聞社の飛行機が空から祝賀のピラをまき、大人も子どもも船橋市誕生の喜びに沸きました。船橋市を象徴する市章も制定されました。

しかし、その年の7月に盧溝橋事件が勃発。以後、日中両国は全面的な戦争へと突入。市民生活は次第に厳しいものとなっていきましました。習志野には陸軍の施設、行田には海軍の施設があったため、市内には高級将校も数多く住み、船橋は軍都としてのイメージもありました。

そして、昭和16年12月2日、真珠湾攻撃にあたり「ニイタカヤマノボレ」の暗号が、東海軍無線電信所船橋送電所（現在の行田団地）から発信されました。同年12月8日、日本は米英両国に宣戦布告。太平洋戦争へと突入しました。



■市制施行を祝う仮装行列 昭和12年



■宮本海岸 昭和15年頃



■本町通り中央付近 昭和12年頃



■中山交差点 昭和15年頃



■船橋海岸 昭和15年

昭和17年(1942年)		昭和16年(1941年)					昭和15年(1940年)																											
7月	6月	5月	4月	1月	12月8日	2日	12月1日	11月19日	10月	7月	6月15日	5月16日	4月1日	4月	3月	11月	10月10日	9月	8月	6月15日	4月10日	1月1日												
翼賛政治会結成	ミッドウェー海戦	警防団に常備消防部を設置	米空軍機、東京初空襲	葛飾ガス、家庭用ガスの人頭割当制	真珠湾攻撃(太平洋戦争始まる)	の暗号打電	行田無線塔を通じ、「ニイタカヤマノボレ1208」	町会設置	葉子切符制実施	東条英機内閣成立	ゾルゲ事件	日本軍南部仏印進駐	米穀割当配給制実施	船橋市農地委員会設置	咲・船橋・葛飾・八栄・法田国民学校)	国民学校令実施により学校名改称(海神・宮本・三)	日ソ中立条約調印	国民学校令施行	船橋青少年団発足	市初の婦人方面委員(現民生委員)任命	紀元2600年祝典	大日本帝国国民服令公布	木炭配給切符制実施	大政翼賛会結成	第5回国勢調査	人口5万907人	世帯数9920	日独伊三国軍事同盟調印	人口5万人を突破	家庭消費用砂糖購入券実施	利根放水路着工	市立船橋中学校(現県立船橋高校)開校	旭町等の町名を実施)	市域内の大字・小字を廃し、新町名を設定(五日市を宮本町、九日市を本町とし、湊町、葛飾町、東町、馬込町、)



■船橋大神宮西鳥居付近 昭和15年頃



■船橋警察署 昭和12年頃

船橋市誕生を目撃した提灯を市に寄付

「納戸を片付けていたら、和紙に
ていねいに包まれた提灯が二つ出て
きたんです」
桑島功さんの自宅で、妹の妙子さ
んが市制施行時に飾られた提灯を偶
然見つけました。70年ぶりに出てき
た提灯には「祝市制」の文字ととも



桑島妙子さん 桑島功さん（宮本6）

に、市制施行に伴い新たに制定され
た市章と、日の丸が描かれていまし
た。「所々、傷んでいるけど、市制施
行の季節に合わせた桜の模様が見事
だね」。当時の写真の提灯と比べると、
書体も同じでした。
功さんは、動物病院の4代目。こ
のような提灯が保存されていること
は、先代からもまったく聞かされて
いなかったそうです。「市制70周年を
迎えようという時期に偶然見つけた
たのも、何かの巡り合わせだね。愛
する船橋のために、この提灯を市に
寄付するよ。元気なまちづくりのた
めに活用してほしいね」
病院は、今では息子の智さんに引
き継がれましたが、「まだまだ現役だ
よ。今朝も、ねこの手術を手がけた
んだよ。経験がものを言うからね」
と功さんが豪快に話してくれました。



◀東京朝日新聞の号外に
載った写真

◀報知新聞社船橋支局主催による祝賀懸賞写真募集で特選になった写真

私

と船橋

市民の皆さんの船橋にまつわる思い出や写真、品物を紹介



■「ニイタカヤマノボレ」の暗号が発信された行田の無線塔 昭和36年

昭和19年(1944年)		昭和18年(1943年)	
12月	7月	12月	11月
4月1日	3月1日	9月	8月11日
4月1日	3月1日	6月	5月15日
		4月	2月1日
		4月	4月
		5月15日	3日
		6月	1日
		8月11日	
		9月	
		11月	
		12月	

第3代市長に後藤秀四郎就任
山本五十六連合艦隊司令長官戦死
公有水面埋め立て地5万4千余坪を湊町1〜3丁目
に編入（現湊町小学校の周囲）
学徒戦時動員体制確立要項発表
全市民の血液型判定
イタリヤ無条件降伏
カイロ宣言
第1回学徒出陣
改正防空法による疎開命令発令
総武鉄道が東武鉄道に合併。東武鉄道野田線となる
市立船橋中学校を県立に移管
東条内閣総辞職
船橋市が第1回空襲を受ける